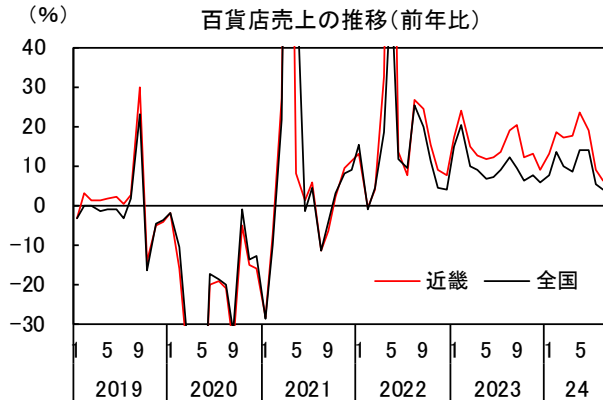
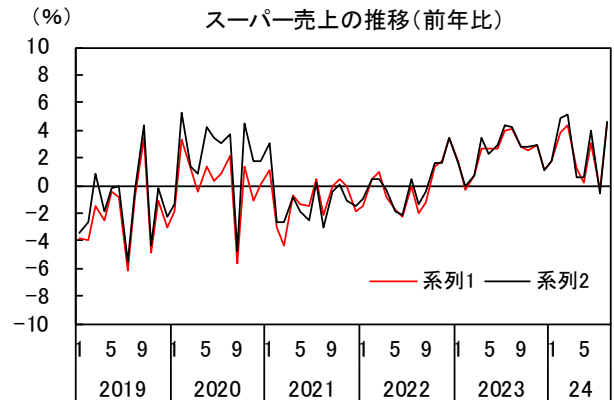


関西の景気トピックス【消費関連（24年8月）】

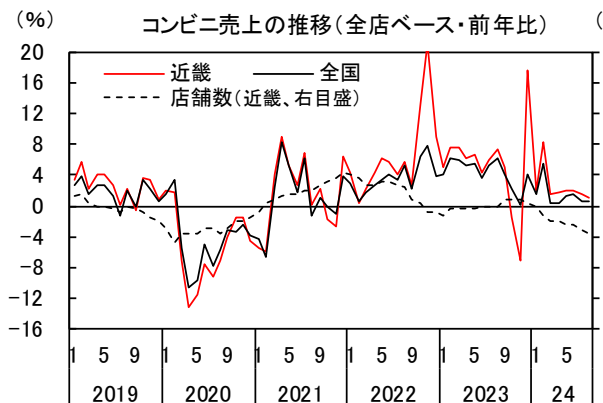
- 24年8月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス6.4%と35か月連続の増加となった。インバウンドの増加は続いているものの、円高の進行に伴い、売上の増加率は縮小傾向となっている。一方でスーパー売上は、8月は前年比プラス4.5%と2か月ぶりの増加となった。8月は南海トラフ地震や大型の台風の上陸への警戒感から、備蓄品需要が一気に高まり、売上が大きく伸びた。
- コンビニ売上（経済産業省）も、8月は全店ベースで前年比プラス1.0%と9か月連続の増加となった。売上の増加が続いている一方で、増加率は徐々に縮小している。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の7月は、前年比プラス2.0%と3か月連続の増加となった（3か月移動平均）。持家は鈍い動きが続いているものの、貸家の増加により、増加を維持する形となっている。
- 各業界で売上が前年を上回る動きがみられるものの、インフレの長期化による節約志向が目立つなど、先行きは楽観視できない状況と考えられる。



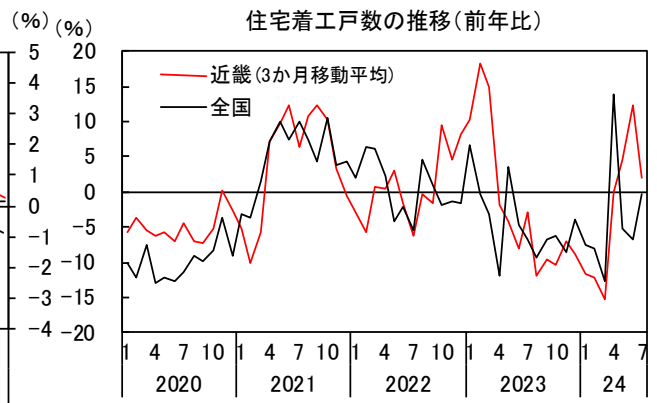
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」